

9月27日 全校朝会（昼の放送）



学習者用タブレット PC を正しく使いましょう

今年はみなさん一人一人に学習者用タブレット PC が貸し出されていますね。授業でもよく使うようになりました。感染予防のため、直接お会いすることができないゲストティーチャーや校外学習でお世話になる現地の方々ともミートでお話ができるし、学校を休んでいる人とも一緒に授業を受けることができます。学習者用タブレット PC を使うことで、みなさんの学習もこれからもっと便利で快適なものになっていくでしょう。情報ネットワークを正しく使うことは私たちの生活をより豊かなものにしていくと思います。そして、そのためには、みんなが守るべき約束「情報モラル」が必要です。

さて、みなさんに貸し出されている PC は、学習のために使う物ですから、それ以外の目的で使うことはできません。学習に関係のないゲームなどをダウンロードしたり、壁紙を好きな写真に張り替えたりすることも禁止しています。家の PC やスマホと同じような機能があっても、同じように使うことはできないものだというのを忘れないでください。

最近のニュースで大きく取り上げられていたので知っている人もいますが、今、東京都内で起こった学習者用タブレット PC を使ったいじめが問題になっています。SNS に人の悪口や暴言を書き込んだり、仲間外れにしたりする「ネットいじめ」は絶対にしてはいけないことですが、学習者用タブレット PC で友達のパスワードを使って、その人に成りすまし、よくないことを書き込むような使い方や、友達の作品や学習シートに何人かで悪口を書き込んで仲間外れにしたりするような使い方絶対にしてはいけません。

「ネットいじめ」がなぜいけないのか考えてみてください。喧嘩であれば、原因をよく考えてお互いに誤解を解いたり、謝ったりして仲直りできますが、ネットへの書き込みはいつも一方的です。書かれた人は、自分がなぜそのように書かれるのか、だれが自分に対してよくない気持ちをもっているのか、いくら考えても分からないのです。誤解を解くことも話し合うことも謝ることもできずに、書かれたことだけがいつまでも気になり、心が晴れません。「気にしなくていいよ」と言われたら、あなたなら気持ちが晴れますか。相手の気持ちも考えずに面白半分をしているのなら、そんな書き込みは気にする必要はありません。無視すればいいと思います。でも、もし、自分が何かしたことで誰かを不愉快にしてしまって、その腹いせで書き込みをされているのだとしたら、直接言ってほしいと思いませんか。人間は、物の見方や感じ方が人それぞれなので時には気持ちがすれ違って不愉快な思いをしたり、喧嘩になったりすることもあるのです。でも話し合って解決することができるのも人間の力です。繰り返しますが、「ネットいじめ」は一方的で、喧嘩とは違います。自分の正体も見せずに一方的にくり返し相手を攻撃することは、最も卑怯なことで、理由に関係なく絶対に許されないということを忘れないでください。そして、もし自分や友達に困ったことが起こったら、すぐに先生や家族など周りの大人に相談してください。

今日、学習者用タブレット PC の使い方についてお手紙を配ります。パスワードのことや、禁止されている使い方についてお家の人と話し合ってもらうための手紙です。1、2年生には難しいかもしれませんが家の人と一緒によく読んでください。とても便利な PC を上手に使って学習に役立ててほしいと願っています。

今日は、学習者用タブレット PC を正しく使いましょうというお話でした。